

会議録

会議の名称	令和6年度第1回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和6年8月6日（火）午後2時から午後3時20分まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	【委員】 山谷委員、一方井委員、植村委員、福田委員、小早川委員、平山委員、澤野委員、恒成委員、衣川委員、渡部委員、木村委員、田中委員、豊川委員 【欠席】 海老沢委員 【事務局】 白井みどり環境部長、西川ごみ減量推進課長、本多清掃係長、山岡ごみ減量係主査、岩崎ごみ減量係主任
議題	(1) 西東京市の廃棄物処理の状況（速報値） (2) 廃棄物推進員へのアンケート結果について (3) 西東京市災害廃棄物処理計画の改定について (4) その他
会議資料の名称	資料1 西東京市ごみ排出量の実績（総排出量）比較 資料2 戸別収集に関するアンケート結果について 資料3 令和6年度 西東京市廃棄物減量等推進審議会のスケジュール
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
（発言内容等） 1 会長から開会の挨拶 2 新任委員委嘱状交付 3 議題 （1）西東京市の廃棄物処理の状況（速報値） （2）廃棄物推進員へのアンケート結果について （3）西東京市災害廃棄物処理計画の改定について （4）その他	

(委員からの主な意見等)

会 長：皆さんお集まりいただきましたので、ただいまより令和6度第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会を開催します。本日の出席状況ですが、海老沢委員から欠席の連絡が入っています。本日の傍聴人については、ありません。
令和5年度の当審議会会議録（案）について、事務局より説明があります。

事務局：先日、令和5年度第1回、第3回、第4回の会議録（案）について事前に送付し、委員の皆様にご確認いただきました。その内容について、会長から修正についてご意見をいただいておりますが、他にご意見のある委員の方、いらっしゃいますでしょうか。

(意見なし)

事務局：それでは修正の後、会長に確認をしていただき、それをもって令和5年度の会議録として確定として、よろしいでしょうか。

(意見なし)

事務局：確定後は、ホームページ等で公表となります。よろしくお願いいたします。

議題(1) 西東京市の廃棄物処理の状況（速報値）

～ 事務局より配布資料の確認、資料1 西東京市ごみ排出量の実績（総排出量）比較についての説明 ～

会 長：説明ありがとうございました。それでは委員の皆様からご質問、ご意見ございましたらお願いします。令和4年度から5年度にかけて総排出量が随分減っていますね。それは驚きました。3パーセント程度減っている感じですね。他市と比べても減り方が大きいのではないかと思います。

委 員：資料1の右側の3列は、原単位でしょうか。

事務局：1日1人当たりの量で単位がグラムの原単位となっています。

委員長：ごみ、資源ともに減っている、という感じですね。持ち込みごみ、これは事業系ですが、前年、前々年あたりは事業系が増加していたと思いますが、令和5年度にかけては若干増えたという程度ですね。

委 員：可燃ごみが813トン減少はかなり大きいのではないのでしょうか。主要な要因は何でしょうか。

事務局：800トンという数字はなかなか減る数字ではないと思いますので、コロナが2類から5類になって、家にいた方が外出するようになり、外食が増え、家庭から出る生ごみや可燃ごみが減少しているのではないかと推測されます。裏付けとしては事業

系である持込ごみが微量ながら増えており、外で外食をするようになったという一つの要因と見て取れるところでございます。

副会長：資源ごみの中の生ごみは微増ですが、自分は生ごみの分解処理をしています、トウモロコシとか夏になると多く出ているものも春夏秋冬通して増えたり減ったりあると思います。夏は多いような気がするものもありますが、ここの生ごみの量は変わらないですね。

事務局：資源ごみの中の生ごみの30トンという数字は、市がモデル事業として300世帯限定で年間を通じて回収している事業のものです。コロナ禍という状況はありましたが、この排出量は例年30トン前後を変わず推移しています。

副会長：生ごみの分解処理を継続的に確認しているわけではないので、自分の家でどのくらい処理をしている効果があるのか、という印象です。

会 長：夏が要因として可燃ごみが増えるというのは昔から顕著でしたが、最近その要因が割と小さくなってきているのではないかと思います。例えばスイカはスーパーマーケットの中でカットされ売っているのは皮がないので家庭からの可燃ごみは増えませんが、その皮は事業系の方で出されます。冬では12月がお歳暮の季節で資源物の段ボールが増えます。

このようなことで資料からは総排出量、原単位でも非常に大きく減量しているということが確認されました。

議題(2) 廃棄物推進員へのアンケート結果について

～ 事務局より資料2 戸別収集に関するアンケート結果についての説明 ～

会 長：ご質問とかご意見とかございましたら、お願いいたします。

委 員：推進員の方は何人いらっしゃいますか。

事務局：現在44人です。本来でしたら各町丁目に、1人の方がいらっしゃいますが、なかなか引き受けていただけない方がいない地区もございます。

会 長：推進員44人の中で何人が回答されましたか。

事務局：41人の方が回答し、回答率93%になります。

委 員：問1の戸別収集で地区がきれいになったかという質問で、大体の方がきれいになっていると回答し、理由も書かれています、自分が最近思ったのが、収集車の方が驚くほど感じが良くて、礼儀正しい。そういう方たちが回収に来てくださると思うと、やはり市民の方も意識が変わるのか、と思いました。

私、今日「ごみ清掃員の日常」という漫画を持ってきたのですが、これを読むと、ごみ清掃員の方の苦労など色々なことが書いてあって、目からうろこだったりします。地区がきれいになっているのも、出し方がきれいということもあると思いま

すが、清掃員の方が散らばっているところをきれいにしてくださっているということをお忘れにはいけないと思いました。

委員：ありがとうございます。今のお話のとおり、従業員に対しても運転や作業における安全を伝え、カラスや猫等の被害が起きていてもきれいに回収するように、心掛けて収集作業を行っています。

問4で、集合住宅でのごみの出し方が、半分の方がこれまでと変わらないと回答し、意見も出されています。今後、大型集合住宅やマンション等においてはどのような形できれいにしていく考えでしょうか。

事務局：変わらないと言われたところは、主にワンルーム系や10世帯弱程度の小規模住宅で、そこについて対策をするように考えております。逆に大型集合住宅は24時間いつでもゴミが出せるのですが、管理人がしっかりやっている場合が多く、ゴミ出しはかなりきれいにされていると思います。

市としては委託業者から報告が上がってきた住宅にチラシを撒いたり、管理会社に改善策について話をするなどしていきたいと思っています。

委員：ゴミの前日出しが結構目につく場合には、市の方から何か言っていただけるのでしょうか。

事務局：市でも前日から出されて結構カラスにやられているというお電話をいただいております。カレンダーでも朝8時半までに排出ということを周知しているが、前日から出していいという話は一切していません。そのような報告が上がってくれば、市ではその方のお宅にチラシを入れたりする対応をしております。

委員：一つ前の話の集合住宅のごみ出しについて、課題があるのがワンルーム系ということでしたが、自分は以前URの集合住宅に住んでいて、その頃に外国人の方が多く入居し、マナーやルールがわからない方も多かったのですが、最近どうなのか気になります。集合集積所でゴミへの責任が希薄なのか、結構ひどい時があり、対策などを検討されていらっしゃるのでしょうか。

事務局：頻繁ではないのですが、外国人のマナーについての問い合わせは頂戴しているところでございます。

西東京市では外国語版の分別のパンフレットを作成しておりますので、集合住宅への外国人への対応として、特定のマンションということで情報が入れば、管理会社を通じてパンフレットを個別にポスティングしてもらおうといった対応ができます。また、現在ご利用いただいているごみ分別アプリは外国語にも対応していますので、使い方も含めて周知を図っているところです。

会長：外国人の方もゴミの出し方をご存じない方もおられます。先ほどの話ですけれども、集合住宅にお住まいの方が多いと思いますが、その場合管理人と一体化してやれるような対応として、外国人の方もわかるような英語のパンフレットのポスティングが非常に有効だと思います。管理人がいない場合はやりにくいですが、ゴミの出し方については行政の方からもアドバイスをするというような対応をしていただければと思います。

委員：集合住宅で集積所が道に面しており、排出物がはみ出したりして、通行人に少し迷惑かかるように見えてしまうのが気になりました。

副会長：私が見ている向台町は戸建が多く、状況についてはだいたいわかっています。自分の地域も集団回収でなくなりましたが、以前の集積所を地域で週に1回掃除しています。引っ越ししてくる方は、役所からもらう資料を見てごみ出しのルール等大体わかるようになっていますが、わからないときには見回りをしている私が説明してご理解いただいております。

また、西東京市は収集車の臭いがしないんですね。他の自治体は収集車が来たのがわかるくらいの臭いがしますが、西東京市はほとんどしません。7月くらいはカラスが多く、散らかっているところを収集車の方がすぐにきれいにしてくれて本当にありがたいです。

近所の目は大切だと思うので、台風とかでゴミ箱が風で飛ぶことを伝えたり、お互いに話すことで問題も解決できます。管理人がちゃんとやっているのか疑問を感じるような集合住宅もありますが、人の目が一番確かだと思うので、私はそういう見方でやっていきたいと思います。

会長：町内会長として、お気づきの点があればお願いします。

委員：2～3か月に一度、町内一斉ごみ拾いで、ある日にごみを集めるということをやっております。私も裏が駐車場になっている誰も見ないようなドブの溝に生えている草を、毎回1時間くらい一生懸命刈って、収集場所へ持って行きます。人がいない、目につかないところの分担とかどうしたらいいのか気にかかります。

会長：推進員の方も町内を回りますが、ご意見ありましたらお願いします。

委員：私の担当地域も住宅地で戸別収集がメインで皆さんきれいにされています。困るのは、畑とか道路沿いに、不法投棄しようというまでのものではないが、空き缶とかの細かいゴミが落ちていることが多いです。

対象の地区ではないのですが、カラスに狙われる家は決まっていて同じ家がやられています。ゴミの出し方がまずいと思うのですが、その家は皆さん、昼間は誰もいらっしゃいません。夜帰ってきても既に片付いているので、どんな状態に荒らされてどんなふうに回収されたか、気がつかないまま終わっている。それでまた同じ繰り返しになるので、一番ひどい状態を写真に撮ってその家の人に見せられたらいいのかなとも思います。人のごみなので写真は撮れませんが。

会長：ありがとうございました。

議題(3) 西東京市災害廃棄物処理計画の改定について

～ 事務局より資料3 令和6年度 西東京市廃棄物減量等推進審議会のスケジュールの説明 ～

事務局：東京都の地域防災計画の改定に伴い、西東京市の地域防災計画が今年度改定されます。被害想定、避難者数など数値的な部分の改定が、西東京市地域災害廃棄物処理

計画の数値の部分に影響をしますので、それに合わせて、一部改定という形で考えていただきます。

第2回審議会では西東京市の地域防災計画の改定を担当している部署の方に出席してもらいまして、地域防災計画の改定のポイントを冒頭で説明をしてもらい、それに伴い災害廃棄物処理計画の改定点について皆様にお示しをしようというふうに考えてございます。お示しをさせていただきました後、皆様に内容を見ていただく期間を設け、ご意見をいただいた後に改定案に反映させ、第3回審議会で最終的に改定したものをご報告ということで考えてございます。今年度はこの改定が中心の議題となりますので、皆様のご協力の方をよろしくお願いいたします。

会 長：西東京市地域災害廃棄物処理計画については、以前当審議会でも様々なご意見を頂戴した経緯がございます。今の時点で当計画にご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

副会長：今年の元旦に石川で大きな地震があり、その時テレビでの被害者の方のご意見を伺うと、災害廃棄物をどこに捨てていいのかわからないという意見が多かったです。次回の会議で地域防災計画の担当部署の職員が来た際に詳しく聞いて、可能な限り地域災害廃棄物処理計画に反映させ改定してほしいと思います。

会 長：第2回審議会では地域防災計画担当の方が来て説明されるということです。当審議会の委員に資料として何か配布される資料はありますか。

事務局：地域防災計画に関する改定のポイントということで、例えば、資料として新旧対照表などを事前に配布するなど、ご覧いただきたいと思います。

会 長：事前に配布して、委員の方もそれを読み込んで審議会でご意見いただくという形がいいですね。よろしくお願いいたします。

議題(4) その他

事務局：次回の審議会につきましては、資料3にもございますように、11月を予定しております。その他につきましては、以上です。

会 長：ご質問はございますか。

委 員：2点あります。今年度は審議会を3回開催予定で、次回が11月、その次が来年の1月とのこと。今日、今年度1回目の審議会ですが、前年度の最後が1月29日で、半年間も開催がなかったのはなぜでしょうか。

もう1点、私はプラスチックごみの削減にとっても関心が高いのですが、加藤商事からのプラスチック資源の回収先について、昨年度は川崎レゾナックでしたが、今年の入札によって同じく川崎レゾナックになったのか、また、マテリアルリサイクルかケミカルリサイクルのどちらになったかのでしょうか。

事務局：審議会の間隔について、前回から半年空いての開催ではございますが、これまでの年度変わりの第1回審議会の開催については概ね6月から7月となっております。

今年度は8月にずれ込んでしまった分、間隔が空いたところではありますが、日程を含めた実施の方法等について今後も協議しながら行えればと考えております。また特に議論をいただきたい事案が発生した時には、時期や間隔をずらしながら実施ということもございます。

プラスチックのリサイクルにつきましては、今年度はJFEプラリソースと富山環境整備の2者が落札しています。両社ともマテリアルリサイクルで、特に富山環境整備につきましては、ゴミ袋からゴミ袋を作るという日本国内でもあまりない形のリサイクルを実施しておりますので、実施状況について見守っていきたいと考えております。

会 長：富山環境整備については、最近多くの地域でプラスチックのリサイクルを引き受け、業容を拡大しています。一定の条件を満たして国が認定することで、製品から一括で回収を行うことができる「認定ルート」という動きが新たにあるのですが、昨年度、審議会で見学に行った際のリサイクルの工程を省いて処理することが可能になりました。その認定数というのはまだ10数件ですが、その認定ルートをこの富山環境整備は実施しています。

プラスチックの一括回収について、西東京市としてはどのように考えていますでしょうか。

事務局：プラスチックの一括回収につきましては、国が方針を示しているところではありますが、西東京市が搬入している柳泉園組合では、硬質プラスチックに関しましては、不燃ごみとして回収をし、重いプラスチックと軽いプラスチック等に分けながら分別処理をしているという状況であります。これを踏まえ、他の構成団体である清瀬市や東久留米市と連携や協議を進めていきたいと考えております。

会 長：もう一括回収に着手しているというか、前から一括で回収している。つまり容器包装類プラスチックという袋で回収するのではなく、プラスチック類あるいはプラスチック資源として一括回収してきたところもあるわけです。そして新たに着手した自治体もあり、多摩地域でも進展している印象です。ただ、23区の方が早くから進展していたように感じます。

理由としては、国の環境省の方針として一括回収を進めたい、製品プラスチックも資源化ルートで循環させたい、という考えがありました。それを促進するために、自治体が焼却施設など整備しなくてはならない、というタイミングでプラスチックのリサイクルの実施状況をチェックするようになりました。23区で21か所の清掃工場がある中、毎年2、3工場を建て替えしなければならず、それに対しての国からの補助金が出なくなったら大変なことです。そこで東京都が補助金を出すので、23区に対して一括回収を推進してください、という流れになりました。

容器包装類プラスチックすら集めてなかったという区も半分はある中、これらの区も含めて一気に2年くらいを目途としたプラスチックの本格的な回収、資源化に向けて着手しました。実験ベースや、一部の地区をモデル地区に定めて実施し、状況を見てから全域で一括回収に踏み切るなど、本格的に着手する自治体だけではないですが、一括回収に向けて進んでいるという感じです。

ごみの減量についての取り組みは多摩地域が進んでいて、23区が後を追うのが今までのパターンですが、プラスチックに関しては23区が非常にやる気になっているという状況です。

副会長：西東京市は補助金出ないのですか。

会 長：先ほど事務局の説明であったように、柳泉園組合の構成団体の３市で協議をしている状況ということじゃないでしょうか。

他に意見ありますでしょうか。事務局からもありますか。

事務局：今年度初めて推進員の方にアンケートを実施しました。推進員の方々の協力をいただきながらまちの美化を進めておりますので、昨年度実施できなかった推進員の方の会議を今年度は設定し、今回のアンケートについての情報共有や、ご意見をいただくなど、市全体として取り組んでいきたいと考えてございます。

会 長：本日の審議会は、以上をもって終了します。